

報道関係者各位

2014年11月6日

三井不動産レジデンシャル株式会社

三井不動産レジデンシャルサービス株式会社

サステナブル・コミュニティ研究会

～「マンション・コミュニティ」という視点からマンションの未来を語るシンポジウム～

## 「Mirai Mansion Meeting」

三井不動産レジデンシャル社長や、先端的取り組みを行う有識者が登壇

日時:2014年11月26日(水) 18:30～場所:日本橋三井ホール(東京都中央区日本橋)

三井不動産レジデンシャル(東京都中央区日本橋 代表取締役社長:藤林清隆)は、マンションの未来について語るシンポジウム「Mirai Mansion Meeting」を2014年11月26日(水)、日本橋三井ホールで開催します。本シンポジウムでは、三井不動産グループのマンション居住者及び一般参加者300名を募集し、マンションを単なる住まいというだけでなく、共同体が生活するコミュニティという視点から捉えなおし、新たなマンションの在り方を提案します。参加は無料で、専用の告知サイトから申込できます。(URL:[www.sustainable-community.jp/sc/meeting2014/](http://www.sustainable-community.jp/sc/meeting2014/))

### 《開催概要》

名称 : Mirai Mansion Meeting

日時 : 2014年11月26日(水) 18:30～21:30(受付開始18:00)

場所 : 日本橋三井ホール

(〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1 COREDO 室町1・5F  
エントランス4F)

プログラム : 【SESSION1】 18:30～ 『未来の都市をマンションから考える』

《登壇》

藤村龍至建築設計事務所代表 藤村龍至氏

三井不動産レジデンシャル社長 藤林清隆

三井不動産レジデンシャルサービス社長 岩田龍郎

【SESSION2】 19:45～ 『マンションの新しい捉え方』

《登壇》

ena AMICE 代表 蛭原英里氏

チームラボ代表取締役 猪子寿之氏

issue+design 代表 笥裕介氏

【SESSION3】 20:40～ 『ミライ・マンション・ミーティング』

来場者全員参加型のワークショップ

入場料 : 無料

主催 : 三井不動産レジデンシャル株式会社

三井不動産レジデンシャルサービス株式会社

サステナブル・コミュニティ研究会

お問い合わせ先

三井不動産レジデンシャル株式会社 市場開発部商品企画グループ TEL:03-3246-3912

共同PR株式会社 担当:吉岡、田村 TEL:03-3571-5238 FAX:03-3571-5380

## ■プログラム詳細

第1部では、三井不動産レジデンシャル代表取締役社長の藤林清隆、三井不動産レジデンシャルサービス代表取締役社長の岩田達郎、建築家として集合住宅の設計等を行いながら住民参加型のシティマネジメントプロジェクトも手掛けている藤村龍至氏が都市とマンションの関係や実際の事例について語ります。第2部では、ena AMICE 代表の蛭原英里氏、チームラボ代表の猪子寿之氏、issue+design 代表の笥裕介氏、がセッション形式で対話します。第3部では、ご来場者様参加型のワークショップを実施します。実際に物件で行われている「Park HOMES Greeting(入居あいさつ会)」などサステナブル・コミュニティ研究会が取り組んでいるコミュニティ活動を疑似体験できるプログラムなどを織り交ぜながら、ミライのマンションについて考えます。また会場にはサステナブル・コミュニティ研究会をはじめ、マンション・コミュニティ活動を行っている活動団体の紹介をパネルにて展示します。

## ■参加募集期間

2014年11月6日(木)～2014年11月20日(木)

## ■参加者 定員 300名

三井不動産グループマンション居住者  
一般参加者

## ■応募方法

専用告知サイトにて必要情報を入力。

URL：[www.sustainable-community.jp/sc/meeting2014/](http://www.sustainable-community.jp/sc/meeting2014/)

## 《三井不動産レジデンシャル株式会社について》

三井不動産のグループ会社で、住宅分譲事業、販売受託事業を行います。住宅分譲事業では、中高層住宅事業と戸建住宅事業の二つの事業があります。販売・契約コンサルティング・アフターサービスを起点に、用地取得・企画開発・品質管理まで、一貫して手がけています。2013年度では住宅分譲戸数で7,282戸、住宅分譲収益で3,545億円です。販売受託事業では、三井不動産グループの総合力が活かしながら、これまで培った販売、情報、マーケティング、信頼、ネットワークの実績を結集し、商品企画から販売までのトータルなサポートを目指します。2013年度では取扱戸数で1,903戸、取扱高で1,267億円です。(URL:<http://www.mfr.co.jp/>)

## 《三井不動産レジデンシャルサービス株式会社について》

2014年4月1日、お客様のくらしを豊かにするサービスパートナーとなることを目指して、「三井不動産レジデンシャルサービス株式会社」に改称しました。40有余年にわたり、超高層マンション、大規模面開発マンションなど多彩なマンションのトータルマネジメントを行っております。現在、全国の当社グループにおいて約24万戸を管理しており、ハード面はもとより、三井不動産グループの「すまいとくらしのベストパートナー」という住宅事業のスローガンのもと、マンションご入居者サービスにおける「グループ連携強化」と「サービスの拡充・質的向上」を目指し、グループ一体となって安全で快適なマンションライフをサポートしています。(URL:<http://www.mitsui-kanri.co.jp/>)

## 《サステナブル・コミュニティ研究会について》

三井不動産レジデンシャルが中心となって2011年に立ち上げたプロジェクトであり、アドバイザーボード委員(有識者)や各種外部団体と連携しながら活動中。サステナブル・コミュニティ研究会では、東日本大震災以後の集合住宅のあり方としてコミュニティ内の共助・互助、周辺住民との連携により、環境・社会・経済面の様々な障壁を乗り越えて持続可能な地域をつくっていく「サステナブル・コミュニティ」がより重要なテーマになってくると考えています。具体的な取り組みとして、コミュニティ活動の支援施策「Park HOMES Greeting(入居あいさつ会)」等を進めています。(URL:<http://sustainable-community.jp/sc>)